

経済振興委員会報告資料

観光・MICE推進プログラムの
改定に係る検討状況について

令和 7 年12月
経済観光文化局

1 観光・MICE推進プログラム改定の趣旨等

観光・MICEの取組みについては、福岡市観光振興条例（平成30年9月制定）を踏まえて策定した「観光・MICE推進プログラム」（以下「プログラム」という。）に基づき、具体的な施策を推進している。

現行のプログラムの計画期間が令和7年度末までとなっているため、令和8年度から令和10年度までを計画期間とする次期プログラムの改定に向けた検討を進めており、今回、次期プログラムの原案（詳細は参考資料1を参照）を報告するもの。

2 次期プログラムにおける取組みの視点

次期プログラムにおいては、福岡市の観光・MICEの持続可能な発展を目指し、質の高い観光と市民満足度の向上の両立を図るため、次の5つの視点で取組みを進めていく。

視点① 観光客の来訪に対する市民の満足度向上

観光客だけでなく、市民にとっても利便性が向上する取組みの更なる推進や、観光による経済効果などの情報発信による理解促進を図る。また、インバウンドに対するマナー啓発や混雑緩和に取り組み、市民が観光客を受入れることへの意向の向上を図る。

視点② 観光関連産業の賃金上昇に向けた稼ぐ力の向上支援

観光関連産業の人材確保や従業員のキャリア形成に向けた支援のほか、賃金上昇に向けた経営者層に対する意識啓発、生産性の更なる向上に取り組み、観光関連産業の賃金上昇に向けた稼ぐ力の向上を支援する。

視点③ 量から質への更なる転換

西のゴールデンルートによる欧米豪旅行者の更なる誘客を推進する。また、きめ細やかな対応ができるガイドの育成、体験型観光商品の造成や上質な旅行体験の提供を専門的に行う地域の事業者への支援などにより、高付加価値旅行者の更なる誘客に取り組み、量から質への更なる転換を進める。

視点④ 質の高いMICE誘致及び地域への波及効果の拡大

質の高い国際会議の誘致に向け、会議主催者となる大学教員への情報発信や誘致から開催までの伴走支援など、大学との連携を強化する。また、文化財などを活用したユニークベニューの開拓のほか、ビジネスや市民参加の機会創出等により、質の高いMICEの誘致及び地域への波及効果の拡大を図る。

視点⑤ 地域資源の磨き上げによる昼間の観光の充実

食文化やエンターテインメントなどの夜間の観光の充実に引き続き取り組むほか、自然や歴史、伝統文化などの地域資源をさらに磨き上げ、ストーリー性のある市内周遊ルートの構築や体験機会の創出によるまち歩きの魅力向上などにより、昼間の観光の充実を図る。

3 取組みの方向性と主要施策

(1) 九州のゲートウェイ都市機能強化

主要施策	施策概要
①量から質への転換に向けた誘客促進	カントリーリスクを考慮し、幅広い国・地域からの誘客を目指して取組みを進める。このため、西のゴールデンルート取組みによる欧米豪などへのプロモーションのほか、受入環境の充実を図り、高付加価値旅行者の誘客に取り組む。
②観光・MICE施設をはじめとする都市機能強化	ウォータフロント地区におけるMICE施設の機能強化や質の高いホテル誘致に向けたプロモーションを実施するほか、来訪者のおもてなし空間の創出に取り組む。
③ゲートウェイ都市機能を活かした周遊観光の推進	九州の自治体と連携し、福岡市を起点とする周遊ルートの形成やプロモーションに取り組み、福岡市への来訪機会の創出と九州全域の観光への貢献を図る。

(2) MICE都市としてのプレゼンス向上

主要施策	施策概要
①質の高いMICE誘致と地域への波及効果の拡大	シンボリックMICEなどの誘致やユニークベニューでの文化財の活用のほか、大学との連携強化による学会などの誘致・開催強化など、積極的なMICE誘致に取り組み、地域経済の活性化を図る。
②MICEにおける受入環境の充実	MICE開催時における受入環境の充実を図るほか、災害時における観光客の対応など、来訪者が安全・安心に過ごすことができる環境の充実を図る。また、MICE事業者や主催者と連携し、市民の学びや国際交流の機会創出、若い世代のMICEへの関心や理解促進に取り組む。
③SDGsへの貢献と都市競争力の向上	観光・MICE事業者へのSDGsの理解促進と取組みを支援し、都市競争力の向上に取り組むほか、様々な国・地域からの来訪者など、多様な人が観光を楽しむことができる環境の充実を図る。

(3) 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進

主要施策	施策概要
①地域資源などを活用した観光振興	食文化やエンターテインメントなど、夜間の観光の充実に取り組むほか、都心部だけでなく市内の様々な地域における自然や歴史、伝統文化などの地域資源を磨き上げ、ストーリー性のある市内周遊ルートの構築などにより昼間の観光の充実を図る。
②観光客の来訪に対する市民の満足度向上	市民にとっても利便性が向上する取組みや観光による経済効果などの情報発信による理解促進を図るほか、観光客のマナー改善など、観光課題への対応に向けた取組みを推進する。
③観光関連産業の持続可能な経営の推進	観光関連産業の生産性向上などによる従事者の賃金上昇に向けた稼ぐ力の向上支援や魅力発信による多様な人材確保、やりがい向上に向けた取組みを推進する。

4 次期プログラムの目標値

次期プログラムにおいては、「①観光・MICE推進に係る成果指標」と、「2 次期プログラムにおける取組みの視点」を踏まえた「②取組みの視点に対応する成果指標」の2つを設定し、実現に向けて取り組んでいく。

① 観光・MICE推進に係る成果指標

成果指標	基準値 (令和7年度時点最新値)	目標値
入込観光客数	2,309万人	2,600万人
外国人入国者数	390万人	480万人
観光消費額	6,192億円	9,700億円
国際会議開催件数（JNT0基準）	79件	300件
福岡市に来訪した観光客の満足度	88.4%	90.0%

② 取組みの視点に対応する成果指標

視点	成果指標	基準値 (令和7年度時点最新値)	目標値
①	観光が重要な役割を果たしていると思う市民の割合	62.9%	70%
	観光客の来訪による混雑・マナー違反に迷惑していると思う市民の割合	今年度調査予定	調査結果 －5%程度
②	賃金に満足していると答えた観光関連産業従事者の割合	今年度調査予定	調査結果 ＋5%程度
	観光関連産業で働きたいと思う従事者の割合	今年度調査予定	調査結果 ＋5%程度
③	インバウンドの消費単価	8.4万円	10万円
④	国際会議（JNT0基準）への外国人参加者数	6,114人	15,000人
⑤	昼間にお勧めする観光（観光スポットやイベント、食べ歩きなど）があると答えた市民の割合	今年度調査予定	調査結果 ＋5%程度

5 今後のスケジュール

観光・MICE推進プログラムの改定に向け、観光・MICEの専門家で構成する有識者会議でご意見をいただきながら検討を進めていくとともに、議会には適宜報告していく。

令和7年11月	令和7年12月	令和8年2～3月	令和8年3月
有識者会議 〔方向性や目標値 に対する意見聴取〕	プログラムの 原案を報告	有識者会議 〔今後の取組みに 対する意見聴取〕	プログラムの策定 計画期間 〔令和8～10年度〕

※ 11月開催の有識者会議の議事概要は参考資料2を参照